

平成25年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力

「マハラペ郡小学校電化計画」引渡式の実施

在ボツワナ日本国大使館

平成27年8月6日

平成27年3月3日、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「マハラペ郡小学校電化計画」の引渡式が、被供与団体であるマハラペ郡評議会関係者等の出席を得て、同地にて行われました。

本案件は、首都ハポロネから北東に約200km離れたマハラペ郡において、これまで未電化であった小学校7校について教室等各1棟の電化工事を無償で援助したもの（供与額29,078米ドル）です。本件の実施により、7校で学ぶ約2,070名の子どもたちは、照明設備の整った教室で学べるようになったほか、テレビ等AV機器を使用した視聴覚教育を受けることが可能となりました。

対象校の1校であるクドウマツェ小学校において行われた引渡式では、尾西雅博大使はスピーチを行い、「本案件の実施により、当該7校で学ぶ児童たちの知的探究心が刺激され、世界について学び、学術面での飛躍が成し遂げられることを願う。」と述べました。これに対して、同校の児童代表から謝意を表す歌の披露が行われたほか、被供与団体の代表等からも感謝の意が述べられました。



(写真) 引渡式後の尾西大使及び小学校7校の校長及び出席者たち